

【高等学校用】

令和2年度学校評価 結果・学校関係者評価

達成度(評価)	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

1 前年度 評価結果の概要	<p>・学校の教育目標達成に向けて、生徒目から学ぶ意欲を高めていけるように、学力向上と人間力アップの取組みを保護者や地域と連携しながら進めることができた。次年度以降も次の「神高100年」をつくるためにより深化した取組みを継続していく。</p> <p>・進路指導部や学年での取組みによって、個人差はあるが確かな学力を身に付けてきている。また、生徒会活動・部活動の活性化により学校全体に活力が生まれ、努力することにより自信を持って臨むことができるようになり、生徒の進路実現に繋がってきている。</p>
2 学校教育目標	<p>校訓「至誠、尚学、進取」を基調に、高潔な人格形成を目指した人間教育の振興に努め、地域に愛され、自信と誇りに満ち、向上心豊かで、社会を逞しく生きていく人間を育成する。</p>

3 本年度の重点目標	<p>①新たな大学入試制度を見据えた学力の育成及び進路指導</p> <p>②生徒の地域を愛する心を育み、魅力と活力ある高校づくりを行う</p> <p>③業務改善の推進と学校の組織力の強化</p>
------------	---

4 重点取組内容・成果指標	5 最終評価
---------------	--------

(1) 共通評価項目				最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組	成果指標(数値目標)	具体的取組			達成度(評価)	実施結果	
●学力の向上	○教科指導の充実	○生徒による授業評価において「理解できる」「概ね理解できる」割合を80%以上にする。	・生徒の目標や実態に応じた授業計画の作成 ・授業研究や教職員間の相互研修の実施	A	・年間を通して授業時間数の確保を工夫して行い、計画通りに実施できた。 ・ほぼ90%の生徒が、「授業内容を理解できている」「授業に満足している」と回答している。	A	・授業を理解できている生徒が多く、丁寧に指導されているのではないかと。アンケートで、先生の話し方については、学年間で評価にばらつきがある。 ・教師力・指導力の向上のための方策を明確にしてほしい。	各学年主任 各教科主任 教務主任 進路指導主事
	○家庭学習の充実	○各学年で設定した目標値の80%以上	・年4回の家庭学習時間調査実施 ・ICT活用による効果的な学習課題の提供	B	・家庭学習時間については、年4回調査を実施した。各学年の目標値には及ばなかった。 ・授業や課題配布に加えて、各種調査や家庭連絡等でもICTの活用が進んだ。	B	・家庭学習については、時間も大事だが、質も大事。 ・家庭学習時間は、目標値に達していないので、学習させるような指導の工夫をしてほしい。	各学年主任 各教科主任 教務主任 進路指導主事
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○生徒会活動に「満足している」と回答した生徒80%以上 ○「問題行動を未然に防ぐ生徒指導が行われている」と回答した教員80%以上	・生徒主体の生徒会活動の推進 ・地域清掃等ボランティア活動の実施 ・問題行動の予防と再発防止の取り組み	B	・生徒会活動や神高祭は、80%の生徒が満足している。ボランティア活動は実施できなかった。 ・服装指導等についても、80%以上の生徒がその効果があると回答している。	A	・コロナ禍の中、対策をして実施できることを行ったことは評価できる。 ・神高祭は、後援会も協力して、満足いくものであったと思う。	各学年主任 生徒会主任 生徒指導主事 人権・同和教育担当者
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○「いじめ防止について組織的対応ができています」と回答した教員80%以上	・いじめの認知・覚知について迅速な対応の徹底 ・いじめ対応についての研修・会議の年間3回以上実施	B	・迅速にいじめの認知と認知を行い、早期解決ができた。会議等での情報共有も頻りに行ったが、SNSに関するものが増加傾向で、学校生活で見えないいじめへの対応が今後の課題である。	A	・迅速に対応できていて評価できる。 ・SNSなど見えないいじめに対して、専門家の研修などを取り入れていってほしい。	管理職 生徒指導主事 教育相談主任
	◎自らの夢や目標の実現に向けて努力する気持ちを高める教育活動の推進	◎「夢や目標を持った」「夢や目標に対する気持ちが高まった」と回答した生徒80%以上	・職業講話、先輩からの講演会の実施 ・総合的な学習・探究の時間、ホームルームの時間の充実	A	・講演会などでの進路啓発は大幅削減を余儀なくされたが、地域探究学習は予定通りできた。 ・80%以上の生徒と保護者が、学校生活を通して夢や希望を持つことができていると回答している。	B	・生徒の進路について、先生たちは最後までサポートしてくれている。 ・夢や目標を持ってなかったと回答している生徒もいるため、その生徒たちの意見も聞いてみたい。	各学年主任 教務主任 教務副主任 進路指導主事
●健康・体づくり	●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	●「健康に食事は大切である」と考える生徒90%以上 ○朝食をとり登校する生徒80%以上	・保健だよりの発行 ・食育推進のための研修会や講演会の実施 ・保護者への連絡や啓発活動	B	・保健だよりで等食育啓発活動を行った。 ・90%以上の生徒が、ほぼ毎日朝食を摂ってから登校できている。	B	・感染症対策最優先で、食育活動ができなかったことは仕方がないが、生徒、保護者ともに朝食を摂って登校していると答えているので評価できる。	保健厚生主任 養護教諭 食育推進担当者
	○教育相談や特別支援教育の充実	○「教育相談体制が整っている」と回答した教員80%以上 ○「必要な生徒に適切な支援が行われている」と回答した教員80%以上	・教育相談に関する研修会の実施 ・特別支援に関する研修会の実施 ・ケース会議の開催、情報共有	A	・90%以上の生徒、保護者、職員が教育相談体制づくりができていると回答している。 ・特別支援の体制づくりに関しても、95%以上の職員ができていると回答している。	A	・学校の取組み状況は評価できる。	教育相談主任 特別支援教育コーディネーター 各学年主任
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在職等時間の上限を遵守する。	・学校閉庁日の設定 ・部活動休養日の設定	B	・学校閉庁日と部活動休養日の設定は適正に行われた。時間外在職時間の平均は、年間を通して前年度より少なかったが、更に改善を必要がある。	B	・時間外の勤務が、前年度より少なくなったことは評価できるが、企業と比べればまだまだである。 ・具体的な改善策を示してほしい。	管理職
	○働きやすい職場環境づくりの推進	○「職員間での連携が図られ、教育活動がスムーズに進められている」と回答した教員80%以上	・職員間でのコミュニケーションの充実、課題の共有、協働意識の醸成 ・来訪者に対する窓口対応、電話対応の満足度の向上	A	・例年ない状況下であったが、スムーズな教育活動ができたと回答した職員が90%以上いた。 ・電話対応時間の変更や、感染症対策のため窓口対応変更を行ったが、特に問題はなかった。	B	・アンケートで、働き方改革が進んでいると思う数値が低い。	管理職 各分掌・学年主任

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目				最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組			達成度(評価)	実施結果	
○新たな大学入試制度を見据えた学力の育成及び進路指導	○各学年の状況に応じたキャリア教育の実践	○年度末に、「年度当初に比べて将来に対する目的意識が高まった」という生徒の割合を80%以上にする。	・進路講演会、オープンキャンパス、大学ジョイントセミナーの実施 ・進路に関する情報の発信 ・生徒及び保護者との面談の実施	B	・進学関係の情報提供については、講演会や参加型の行事は実施できないものもあったが、オンライン等を活用して行った結果、ほぼ90%の生徒、保護者が効果的に行われたと回答している。	A	・コロナ禍の中、オンライン等の活用で効果が出ていることは評価できる。	進路指導主事 進路指導副主任 各学年主任
○魅力と活力ある高校づくり	○地域の抱える様々な課題を発見し、その解決策を考える。	○年度末に、「年度当初に比べて地域の抱える課題や解決策についてよく考えるようになった」という生徒の割合を80%以上にする。	・フィールドワークの実施 ・市役所訪問、ローカリスト講演会の実施 ・研究成果発表会の開催	A	・80%以上の生徒が地域の課題や社会問題について考えるようになったと回答している。特に、探究学習を行った1、2年生については、主体的、積極的な活動参加と意識の変化が見られた。	A	・生徒が地域の課題や社会問題に真剣に取り組んでいる様子は評価できる。	進路指導主事 進路指導副主任 1学年主任・2学年主任

5 総合評価・次年度への展望	<p>●・・・県共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志を高める教育</p> <p>・学校運営全般において、新型コロナウイルス感染症の影響により多くの変更を余儀なくされたが、生徒が落ち着いた学校生活に取り組み始めるよう、保護者や地域とも連携しながら進めることができた。</p> <p>・学校評価アンケートにおいては、各項目において概ね生徒と保護者の評価は高い。生徒自身も進路目標達成のため、学習活動や生徒会活動、部活動に積極的に取り組んでおり、夢や目標の実現に繋がっている。また、市役所や商工会の協力の下、地域での探究学習も軌道に乗ってきており、次年度はコミュニティ・スクール導入も見据えて、さらなる活動の充実を図る。</p> <p>・いじめ防止や特別支援教育をはじめとした安心して過ごせる学校づくりに関しては、全職員で協力しての取組みができおり、次年度も引き続き行っていく。</p> <p>・働き方改革については、一定の成果が得られた。次年度も引き続き、業務の削減や効率化を進め、さらなる改善を図る。</p>
----------------	--